

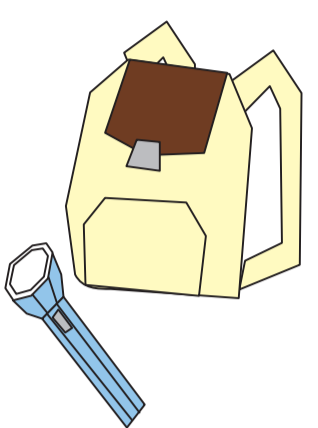
非常時の持ち出し品は大丈夫？

いつ起こるか分からない大地震に備えて、非常時の持ち出し品や脱出用の道具などの備えをしておくとう安心です。下のチェックリストを参考に必要なものをそろえておきましょう。非常持ち出し品は、両手が自由になるリュックサックに入れておくとう便利です。すぐに持ち出せるようにしておくとうとも家族みんなが分かる場所に置いておくとうにしましょう。

非常時持ち出し品チェックリスト

貴重品類	救急用具	生活用品など	その他
<input type="checkbox"/> 現金、10円玉 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> カード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 証書類 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 家や車のキー	<input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 湿布薬 <input type="checkbox"/> 三角巾、包帯 <input type="checkbox"/> 脱脂綿 <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 風邪薬、胃腸薬 <input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> マッチ、ライター <input type="checkbox"/> すべり止め付車手 <input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> ヒモ、ガムテープ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 裁縫道具 <input type="checkbox"/> 洗面道具	<input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 住所録のコピー

避難用具	非常食料・食器	衣類
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ろうそく <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 粗食器、缶切り など	<input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 雨カッパ <input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ



災害復旧までの数日間分(最低3日分)は準備しておきましょう。

飲料水	食料品	燃料、その他
1人1日あたり約3リットルが必要です。家族全員の分をポリタンクにためておき、沸かしてから飲みましょう。このほかに、炊事・洗濯・トイレなどに使う生活用水のためにお風呂に水をためておいてもよいでしょう。	そのまま、または簡単な調理で食べられるものがあれば便利です。缶詰、レトルト食品、カップラーメン、切りモチ、アルファ米など。調味料も用意しておくとういでしょう。	卓上コンロや固形燃料を準備しましょう。冬期は暖房用の燃料が必要です。その他、ビニール袋や新聞紙、キッチン用ラップなどもあるとう便利です。

自主防災組織に参加しましょう!

「自らの命は自らが守り、自分たちの地域は自分たちで守る」
山鹿市では助け合いの精神に基づき、行政区を単位とする自主防災組織の育成を推進しています。皆さんで、共通の目的を持って積極的に活動することが重要です。皆さんが必要な知識や技術を身につけることで、地震が起きたときでも冷静な判断をすることができるようになります。

地震のときの心がまえ

まず落ち着いて身の安全を確保しましょう。

机やテーブルに身をかくす

揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルの下に身をかくしましょう。座ぶとんなどが身近にあれば、頭部を保護しましょう。

非常脱出口の確保

地震によって建物ゆがみや、出入り口などが開かなくなるおそれがあります。早めに玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。

あわてず冷静に火災を防ぎましょう。

すばやく火の始末を!

使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。ガス器具は元栓を締め、電気器具はコンセントを抜きましょう。

火が出たらまず消火を!

万一出火したら、まず消火器などでポヤのうちに消しとめましょう。

状況に応じて避難をしましょう。

避難は徒歩で、持ち物は最小限に!

避難するときは、必ず徒歩で避難しましょう。服装は動きやすいものにして、携帯品は必要品のみを背負うようにしましょう。

自動車の運転中では・・・?

道路の左側か空き地など緊急車両の通行の妨げにならない場所に停車し、エンジンを止めましょう。避難するときは、キーをつけたままにして、徒歩で避難しましょう。

正しい情報の入手に努めましょう。

デマにまどわれないようにする

テレビ、ラジオの報道に注意して、うわさやデマにまどわれないようにしましょう。市役所や消防署、警察署などの情報にも注意しておきましょう。

困ったときの緊急連絡先

いざというときのために、必要な連絡先を確認しておきましょう。

災害対策本部	消防119番
山鹿市役所防災監理課 43-1113	山鹿市消防本部 43-1194
警察110番	鹿北分署 32-2574
山鹿警察署 44-0110	東分署 46-2382
鹿北駐在所 32-2142	救急
菊鹿駐在所 48-2210	山鹿市民医療センター 44-2185
鹿本駐在所 46-2458	ライフライン
鹿尖駐在所 36-2026	九州電力熊本玉名営業所 0120-986-601

※ 山鹿市の市外局番【0968】 電話故障等問い合わせ 局番なし113

我が家の防災メモ

災害時の緊急連絡先(家族、親戚など)

名前	勤務先・学校	電話番号	備考

災害が起きたときに家族全員が安全に避難するために決めておきましょう。

家族の待ち合わせ場所	避難場所

NTT災害用伝言ダイヤルサービス「171」

「災害用伝言ダイヤル」は、災害により電話がかりにくくなっている地域を対象に、自分自身の安全について、自宅や職場の電話番号毎に設定された録音BOXに、1メッセージ30秒以内で10メッセージまで録音することができます。
※なお、いったん録音BOXが満杯になると、メッセージが48時間経経して消えるまで次のメッセージが録音できないのでご注意ください。

利用方法について **171** をダイヤルし、利用ガイドランスに従って、伝言の録音・再生ができます。
忘れてイナイ171? 災害伝言と覚えましょう!

山鹿市

地震防災マップ

保存版

まもろうよ!
家はみんなの
たからもの

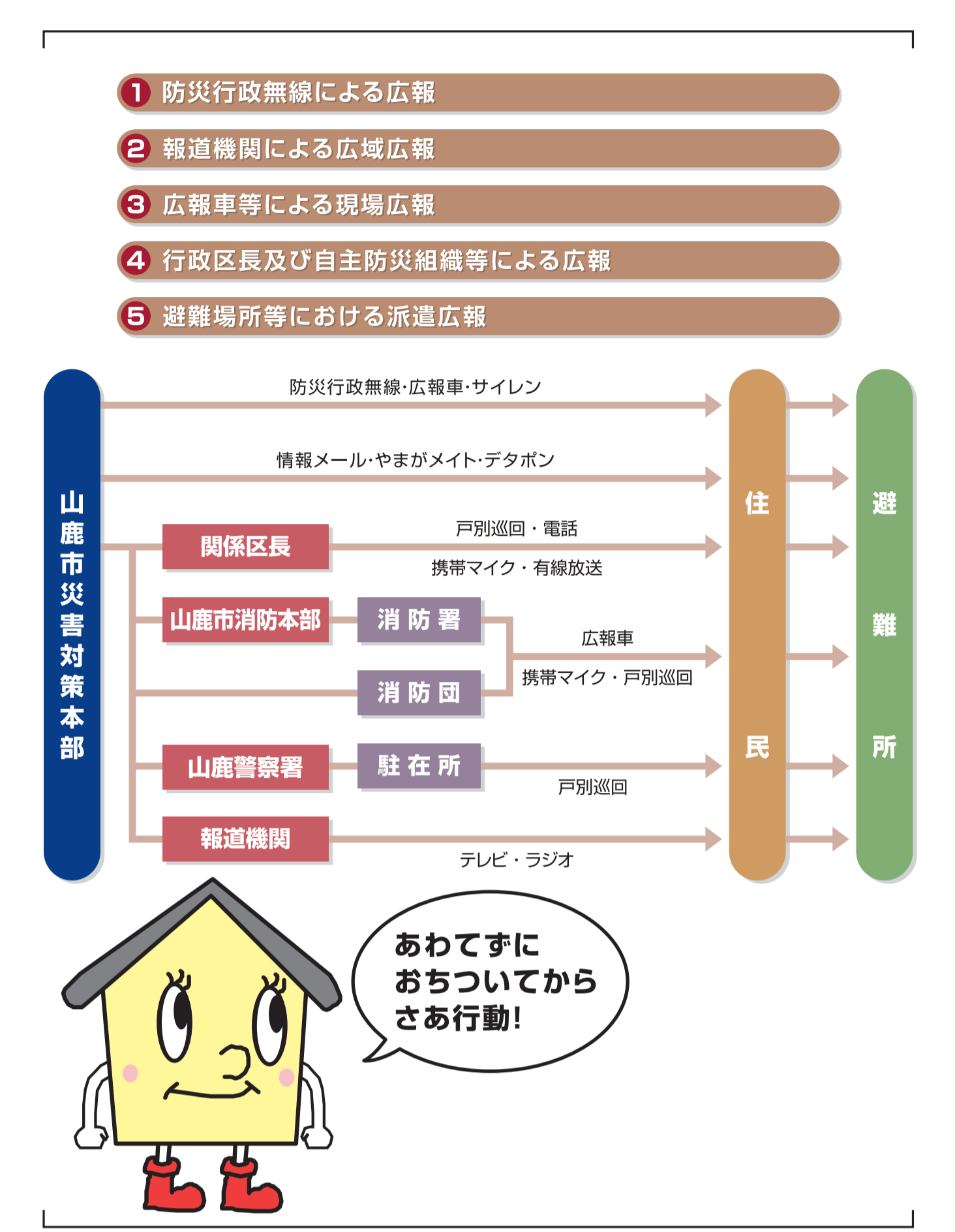
住宅くん

地震防災マップに関する問い合わせ先
建設部都市計画課 43-1591

山鹿市
令和2年4月

地震が起きてしまったら

地震が起きた場合は、慌てず正確な情報を集めるように努めましょう。市では状況に合わせて効果的な方法を選び、市民の皆さんに情報の提供を行うようにします。



あなたの家は大丈夫？

木造戸建住宅の耐震化率は57.2%*です。

昭和56年6月1日より前、いわゆる「新耐震基準」の施行以前に建てられた建築物は、地震に対して弱いといわれており、近年発生した地震による建物被害が集中したといわれています。市民の皆さんが生命や財産を守るためには、建築物の耐震化を促進することが重要です。

*この数値は、平成27年住宅土地区画調査の結果を利用した推定値です。

山鹿市の住宅の耐震化率目標は100%です!!

我が家の耐震診断をしてみましょう

皆さんがお住まいの住宅について、下記の項目で気になる部分はありますか? このほかに、住宅のどのようところに地震に対する強さ、弱さのポイントがあるか調べてみましょう!耐震診断の問診表は、財団法人日本建築防災協会発行の「誰でもできるわが家の耐震診断」をご覧ください。

対象の住宅

この診断の対象となる住宅は、1〜2階建ての一戸建て木造住宅(在来軸組構法、枠組壁工法(ツーバイフォー工法))などで店舗・事務所等を併用する住宅を含みます。

増築について

建物全体をよく見てみましょう。屋根の棟や軒先が波打っていたり、ドアや扉の建て付けが悪く、なっているようなことはありませんか?

建物の平面について

大まかに見て、お住まいの住宅の1階の平面の形はどのようになっていますか? 不整形な建物よりも、長方形や長方形に近い平面のほうが地震に対して強い形であるといえるでしょう。

壁の配置について

特に1階部分の壁の配置はバランスが取れた配置となっているでしょうか? 壁の少ない部分は揺れが大きくなりやすく、他の部分に比べ壊れやすくなります。

山鹿市 建設部都市計画課

住宅(耐震)に関するお問い合わせ

- 熊本県北広域本部土木部景観建築課 0968-25-2729
- 財団法人熊本県建築住宅センター 096-385-0771

地震が起きる前に耐震対策をしましょう

地震発生後にも、皆さんが普段通りの生活を送るためには住宅の耐震化が非常に重要です。必要に応じて建築物の耐震補強などを行い、自分の家の安全を確保しましょう。

打ち増しなど基礎部分の補強

基礎は建築物の一体性を高めたり、建物に生じた力を安全に地盤に伝える重要な役割があります。建築物全体の基礎を新しくする工事は大変ですが、基礎の打ち増しを行うことで基礎を頑丈にすることができます。

構造用合板や筋交いなど壁面の補強

建築物の壁面は地震の揺れに抵抗する役割があります。揺れに抵抗するためには、構造用合板をはったり、筋交いを入れたりするなど強い壁を増やすことが有効です。ただし、これらの補強をするためには基礎が必要となります。

屋根の軽量化

地震の揺れの大きさには建築物の重さが関係しています。特に、屋根の重さは大きなポイントです。壁などの補強が難しい場合は、瓦葺の屋根を軽い材料のものに置き替えることも耐震対策として有効です。

柱や梁などの交換、金具による補強

台所や浴室の近く・北側の土台まわりのように湿りがちのところは早く腐りがちです。白蟻に食われた部材は取替え、防腐・防蟻処置を忘れずに行いましょう。また、ほぞ差しだけの柱、梁の仕口はほぞが折れたり抜けたりしてバラバラになりがちです。それぞれに合った専用の金物でとめることで、地震がおきたときに軸組みが有効に働きます。

建築物のバランス

壁の量が十分であっても、壁の配置が偏ってバランスの良くない建築物があります。例えば南側に大きな窓をとっていたり、広いリビングを作ったために壁の量が少なくなっています。壁の量を増やすだけでなく、それをつりあよく配置することが効果的です。

山鹿市 建設部都市計画課

上記は補強の一例です。それぞれの住宅にあわせて計画で必要な補強を行うようにしましょう。性能や経済性の比較もよく行い、理解した上で決めるようにしましょう。詳しくは、お近くの専門家に相談してください。

悪質リフォームに注意!!

- 市では建築物の耐震診断・改修などについて電話や訪問などによる個別の勧誘はしていません。
- 一人暮らしの高齢者などを狙った悪質な住宅リフォームが問題となっていますので十分注意してください。